

2016年10月31日

ステークホルダーの皆様へ

川崎汽船株式会社  
代表取締役社長  
村上 英三

### 定期コンテナ船事業運営新会社設立の件

平素より当社グループへのご支援、ご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。

当社はこの度、定期コンテナ船事業及び海外コンテナターミナル事業を本体からスピンオフし、株式会社商船三井、及び日本郵船株式会社両社の同事業との統合を決定致しました。これにより、現在は三社がそれぞれ個別に運営してまいりました同事業は、三社対等の精神にもとづいて統合され、新たに設立される合弁会社による事業運営体制となります。

定期コンテナ船事業は人口増を背景とした世界経済活動の発展のもと、安定した物量の増加に支えられて来た成長産業であります。しかしながら、ここに来て世界を取巻く様々な状況の変化により貨物需要は鈍化する一方、新造船竣工に伴う供給圧力により市況の低迷が続いています。これを受けて、昨年来、定期コンテナ船業界においては買収、合併など運航規模拡大による競争力を高める動きが顕在化し、事業構造自体が大きく変わりつつあります。今後、これらの大規模な運営を展開する競合外国船社と伍していくには、市場ニーズを的確に捉えた高品質なサービス提供を図るのみならず、事業規模を高める必要があるとの認識で一般邦船三社の思いが一致したものです。この三社合弁スキームによる新会社は保有船隊140万TEU（発注残を加えると176万TEU）、世界6位の規模の定期コンテナ船事業会社になります。新会社はこの船隊規模と邦船三社が永きに亘り築き上げた定期コンテナ船事業のノウハウを集結の上、世界中のお客様からのニーズに応えるべく、高品質且つ競争力のあるサービスを提供していきます。

当社グループはコンテナ船事業以外にドライバルク船、自動車船、油槽船やLNG船などのエネルギー資源輸送船、海洋資源開発関連船、重量物船、物流事業、近海・内航船などを含めた様々な事業を展開する総合海運会社であります。新会社の事業開始は2018年4月からとなりますが、定期コンテナ船及び海外コンテナターミナル事業を運営する新会社は当社の持分法適用会社となります。統合される事業が総合海運企業としての当社の中核事業の一つである事には変わりはなく、新会社への人材や資金の投入を通してこれらの事業には従来通り当社は深く関わり続けることとなります。定期コンテナ船事業及び海外コンテナターミナル事業の知見を引き続き蓄え、自動車船事業、物流事業などとのシナジー効果を更に深めることにより、この新体制発足後も川崎汽船グループは総合海運会社としてのポートフォリオを維持いたします。

当社グループはこれからも総合海運企業グループとして安全・確実な運航へのたゆまぬ努力と、環境保全といった社会の要請に応じて先進的なチャレンジに取り組み、持続的成長を目指して参ります。

ステークホルダーの皆様の川崎汽船グループへのかかわらぬご支援をお願い申し上げます。

以上